

カヤックベーシック検定会 京都蒲井会場報告書

2020/10/6

開催日 / 2020年10月5日～6日
会場(知識) / 京都府京丹後市久美浜町蒲井「蒲井公民館」
会場(技術) / 京都府京丹後市久美浜町蒲井 蒲井海岸
主管 / リバーアドベンチャークラブ
種目 / シットオントップベーシック
検定員 / 青木勇 IT
補助者 / 青木順一 SUPB
デモ / 青木勇 IT
受験者 / 4名
合格者 / 4名

天候等の自然条件 / 曇り、風速:北の風 2m/秒、気温/18度

・蒲井海岸は2方を岸壁に囲まれ、風波の影響は受けないが、当日は少し寒かった。

知識課目 / ・総論

JSCAのインストラクターとしての活動を、詳しく説明。特に協会に入る意義と保険、運航規程など公認校登録の重要性と活動範囲を説明した。

・安全

低体温症の予防などは具体例を挙げ説明。リスクについて運航規程と教材に沿って説明したのでよく理解してくれた。

・基礎

シットオントップの特性について艇の材質、一人艇と二人艇の構造と性質。PDF、道具としてのウェアなどギアの重要性を伝えた。

漕艇技術 / 検定前に練習時間を設けた。シットオンのコンビネーション、スピ
ンそれぞれの基本的な漕ぎ方を採点した。特にキャッチの重要性、
インストラクターとしての基本と漕ぎ方を伝えた。ベーシック検定
の基準は満たした。

指導技術 / 全員に指導経験があり、事前に模擬講習の練習をしてしていたので
分かりやすく模擬講習をしていた。また、他人の指導方法を見たこ
とがないので自己流にならない様、個人指導をした。

安全技術 / 新しい SPR テキストを基に、用具(パドル、パドルフロート、PDF、笛、ウエア等)の実物を使い説明。

●レスキュー

- ・アシストレスキュー：全員が落水とサポートをしての再乗艇を交互に繰り返し練習
- ・セルフレスキュー：沈脱時の艇の起こし方と、横より再乗艇の練習
- ・艇の牽引は交互にカウテールを使い練習。

●検定種目(艇種)の特性に関しては SPR テキストで説明したが水上で

- ・シットオントップのバランス、回転時の特性を説明
- ・シットオントップの安定性と操縦性の良さ、長距離には不向き等の説明

●活動フィールドの考察

- ・活動フィールドのリスクへの対策：受講生の活動フィールドにおいて漁船、ツアールート等のリスクの洗い出しをした。